

高等学校 令和8年度（3年次用） 教科

国語

科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：1 単位

対象学年組：第 3年次 A組～ D組

教科担当者：（A組： ） （B組： ） （C組： ） （D組： ）

使用教科書：（ 教研出版 文学国語 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を十分理解し、適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、お互いに伝え合う力を高め、思考力・判断力・想像力を伸長する。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上と判断力を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。	言葉を通して積極的に他者や社会と関わったり、物の見方考え方を深めたりしながら、言葉が持つ力を認識するとともに、読書に親しむことで自己を向上させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学 期	A 単元「ひよこの眼」山田詠美 【知識及び技能】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、語り手の視点や場面設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】進んで作品内容を解釈して、学習課題に沿った説明をしようとしている。	・指導事項 「目」「顔」「手」などの描写が登場人物の新庄の機微を表していることを理解する。 主人公の「私」を中心とした作品を三つの場面に分けて、それぞれの場面を確認する。主題を理解する。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人一台の端末の活用 等		○	○	・主人公の回想からという形式が、作品に与える効果を考える。 ・「手の描写が表現しているものを正確に理解する。そこに描かれている主人公「私」の心情を読み取る。ことで、内容を解釈できる。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。		○	○	○	5
	定期考査										1
1 学 期	B 単元「父帰る」菊池 寛 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めさせる。 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の機微を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけさせる。	・指導事項 新思潮の一員であるが、早くから文壇で認められた芥川龍之介とは異なり、「父帰る」などの戯曲作家として評価された点に注目させる。 舞台の背景にある人物は、叔父や少年時代の菊池の姿が投影されていたことにも注目させたい。登場人物が、「父」に対する心情の変化に注目させて理解を深める。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人一台の端末の活用 等		○	○	・作品に共感を抱いたり、疑問を抱いたりすることによって、読書の意義と効用について十分に深めることができる。 ・『父帰る』の展開を正確に把握して、自らの感想を述べることができ、物の見方や考え方を深めることができる。 ・妹の思いと、作者の妹への思いを理解している。 ・詩の鑑賞と感想をまとめて発表し、効果的に伝えることができている。		○	○	○	5
	定期考査										1
2 学 期	単元「山椒魚」井伏鱒二 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めさせる。 文学的な文章を読むことを通じて、わが国の言語文化の特質について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の機微を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけさせる。	・指導事項 山椒魚の置かれた状況を読み取る。山椒魚の悲しみや嘆きといった心情について理解を深める。 小エビの侵入に伴う山椒魚の心境の変化を読み取る。 蛙を閉じ込めた山椒魚の心境について考える。 山椒魚と蛙が和解に向かう経過について整理する。 ・教材 教科書、国語便覧など			○	・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・作品を通して山椒魚の心理の動きを通して、「作者」は何を感じ、何を伝えたいかを読み解き、寓意を的確に理解している。社会のどのような事象に対する批判となっているか、読み取ることができている。		○	○	○	6
	定期考査										1
2 学 期	単元「帰郷」菊池 寛 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めさせる。 文学的な文章を読むことを通じて、わが国の言語文化の特質について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の機微を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけさせる。	・指導事項 この小説が回想形式になっていることを読み取る。 豊太郎が「まことの我」に目覚めるまでの経緯を押さえ、官長や留学仲間との関係性を理解する。 エリスとの出会いから妊娠までの過程を理解する。 帰国かドイツにとどまるか迫られた豊太郎の心情の動きを読み取る。 王五的に生きる豊太郎の心境を捉える。			○	・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・登場人物相互の意思の疎通とすれ違いと、それぞれの思惑から出てくる会話文の特徴を把握することができる。 ・登場人物1人1人の立場や心情を理解し、それらを自分の人生にどう生かしていけるかを考え、感想を書こうとしている。		○	○	○	6
	定期考査										1
3 学 期	単元「帰郷」井伏鱒二 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めさせる。 文学的な文章を読むことを通じて、わが国の言語文化の特質について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の機微を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとする。	・指導事項 情景描写に用いられている修辭的表現の意味とその効果について理解する。 作品を踏まえ、心の不可思議さについて考えることを通じて読書の意義と効用についての理解を深める。 鹿井独特な表現の効果について、もの見方や感じ方を深めることができる。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人一台の端末の活用 等		○	○	・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・「心の不可思議」について、自分が経験したことを80〇字以内で表現できる。 ・登場人物1人1人の立場や心情を理解し、それらを自分の人生にどう生かしていけるかを考え、感想を書こうとしている。		○	○	○	9
	定期考査										
									計		35